

2026年度(令和8年度)事業方針

■ はじめに

働き方改革の進展により労働環境は改善が進む一方、コミュニケーションの多様化に伴うハラスメント対応やメンタルヘルス不調など、新たな課題も顕在化しています。労働時間管理の厳格化、高齢者・外国人労働者の増加、化学物質管理制度の定着、AI普及や人手不足を背景とした業務見直しなど、労働安全衛生を取り巻く環境は大きく変わりつつあります。

当協会はこれらの変化に対応し、労働環境の改善、安全衛生文化の醸成、人材育成を柱に事業を推進します。

■ 労働環境・安全衛生を取り巻く現状と課題

1. 労働時間・働き方に関する課題

一般労働者の年間総労働時間は横ばいが続き、長時間労働は依然として健康障害リスクを高める要因となっています。年次有給休暇取得率は上昇傾向にあるものの、令和7年目標の70%達成には継続的な取り組みが必要です。また、「勤務間インターバル制度」や「つながらない権利」など、疲労蓄積防止に向けた新たな視点が求められています。

2. 職場コミュニケーションとハラスメント課題

働き方やコミュニケーション手段の多様化により、指導と不適切言動の線引きが難しくなっています。心理的安全性の確保は、多様な働き手の活躍にも不可欠です。

3. 少子高齢化と人手不足

女性・高齢者・外国人労働者の活躍促進が不可欠であり、ワークライフバランス改善が就業継続の鍵となっています。

4. 労働災害の動向

死亡災害は減少傾向にあるものの休業4日以上死傷災害は増加しており、転倒・腰痛災害が高い割合を占めています。猛暑日の増加に伴い熱中症対策の重要性も高まっています。さらに、メンタルヘルス不調による労災請求は過去最多水準となり、心理的安全性の確保が企業の重要課題となっています。

5. 化学物質の自律的管理

2024年4月に全面施行された化学物質の自律的管理制度は、導入期から定着・改善フェーズへ移行し、SDS管理やリスクアセスメントの質向上が求められています。

■ 2026年度 事業方針

当協会は、上記の社会情勢を踏まえ、以下の重点施策を推進します。

1. 労働関係法令および健康・安全の普及促進

1) 「安全経営あいち®」の深化

第14次労働災害防止推進計画に基づき重篤災害防止に向けた安全文化の醸成を推進するとともに

(1) 多様な働き手が安心して働ける環境づくり

(2) 高齢者・外国人労働者への安全配慮

(3) 心理的安全性の確保

など、働き方の多様化に対応した安全・健康管理の取り組みを強化します。

2) 専門家による講話・セミナーの充実

企業の課題解決に資する以下のテーマを中心に講話を実施します。

(1) メンタルヘルス・ハラスメント対策

(2) 生成AI活用による標準化・業務効率化

(3) 熱中症対策ソリューション

(4) 高齢者、女性、外国人等、多様な働き手への安全配慮

3) 県下協会との連携強化

健康管理・労務管理に関する講習・セミナーを積極的に紹介し、参加を推奨します。

2. 安全衛生に関する技能講習・特別教育の充実

受講者の利便性向上を図りつつ、社会ニーズに対応した教育を実施します。

1) 熱中症対策教育の強化

令和7年6月から強化された職場における熱中症対策に対応し、熱中症予防管理者教育を中心とした関連講習を拡充します。

2) 外国人向け技能講習の拡充

外国人労働者に対応し、当協会独自の生成AIやアプリを活用したフォークリフト運転技能講習の外国語コースを開設します。

3) 社会インフラ維持管理に関する講習の拡充

上下水道、道路、橋梁、建築物、工作物など、社会インフラの老朽化に対応するため、調査・点検・更新に必要な資格取得を支援する講習を拡充します。

■ おわりに

当協会は、企業の安全衛生水準の向上と働きやすい職場づくりを支援するため、「安全経営あいち®」の理念を基盤に事業を進めてまいります。多様な働き手が安心して働ける環境づくり、社会インフラ維持管理に対応した教育の充実、熱中症対策の強化など、2026年度の重点課題に着実に取り組み、会員企業の皆様とともに地域産業の発展と労働者の幸福に寄与する安全衛生文化の確立を目指します。